

藤枝市文化センター空調設備改修工事

図 面 リ ス ト					
図面番号	図 面 名	SCALE	図面番号	図 面 名	SCALE
M-00	表紙 図面リスト	NONSCALE	E-01	電気設備工事特記仕様書（R6.4）1／2	NONSCALE
M-01	機械設備工事特記仕様書（R6.4）1／2	NONSCALE	E-02	電気設備工事特記仕様書（R6.4）2／2	NONSCALE
M-02	機械設備工事特記仕様書（R6.4）2／2	NONSCALE	E-03	1、2階電灯設備（改修）	1：100
M-03	案内図	1：2,500			
M-04	配置図	1：200			
M-05	空調設備＜改修前・後＞1階平面図	1：100			
M-06	空調設備＜改修後＞2階平面図	1：100			

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

⑪ 機 器 類 の 落 下 防 止 措 置

12 パネル落下防止措置

13 既存ダクトの再利用

14 ダクト保温の範囲

吊り機器類の振れ止めは、「防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（静岡県）」による。

吊りボルトの規定長さが0.4m未満の場合は、設置状況に応じ適切な振れ止めを行うこと。

天井カセット型空調屋内機にはパネル落下防止措置を行う。

「防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（静岡県）」によるパネル落下防止措置を行う。

改修標準仕様書第3編2. 2. 7「既設ダクトの再利用」による。

ダクト内清掃 ※ 行わない ・ 行う

外気取入ダクト（OA）：保温する

外気ダクト（EA）：外壁から1m保温する

給気ダクト（SA）：保温する

還気ダクト（RA）：保温しない

排煙ダクト（SM）：保温しない

排煙設備

1 ダクト

2 排煙口の形式

3 排煙口開放装置

4 排煙風量測定

※ 亜鉛鉄板

・ 普通鋼板（板厚 ※ 1.6 mm ・ mm）

・ 天井取付（ ・ スリット形 ・ パネル形 ）

・ 壁取付（ ・ スリット形 ・ ）

・ 電気式（遠隔復帰 ・ 要 ・ 不要）

・ ワイヤー式

建築設備定期検査業務基準書2016年版（（財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。

衛生器員設備

1 掃除流し

2 洗浄水量

排水口形式 ※ 目皿 ・ 鎖付き共栓

改修工事における大便器の洗浄水量の調整

調整を（※行う ・ 行わない）

大便器の洗浄水量の調整は次のとおりとする。

新設の場合：6.5リットル、既存利用の場合：便器の仕様に合わせる

屋内給水設備

1 配管材料

2 配管接合

屋内一般 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB）

・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PB）

地中埋設 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD）

・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PD）

ねじ接合 ※ 100A 以下 ・ A 以下

フランジ接合 ※ 125A 以上 ・ A 以上（FVB、FVDとする）

屋外給水設備

1 上水道加入金

2 量水器

3 量水器

4 配管材料

5 配管接合

6 緊急遮断弁装置

7 水圧試験

※ 不要

・ 要（※ 別途 ・ 本工事）

※ 貸与品 ・ 本工事（水道事業者の認定品）

※ 水道事業者の規格 ・ 標準図 形

地中埋設 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD）（40A 以下）

・ 水道用ポリエチレン二層管（40A 以下）

※ 水道配用水ポリエチレン管（50A 以上）

架空 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB）

・

ねじ接合 ※ 100A 以下 ・ A 以下

フランジ接合 ※ 125A 以上 ・ A 以上（FVB、FVDとする）

水道配用水ポリエチレン管は電気融着接合とする

駆動方式 ※ 電気式 ・ 機械式

水道配用水ポリエチレン管は、配用水ポリエチレンパイプシステム協会が推奨する試験方法による。

屋内排水設備

1 配管材料

2 配管施工

3 試験

4 その他

雑排水 ※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管

・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）

・ 硬質塩化ビニル管（VP）

・ 配管用炭素鋼鋼管（白）

・ 排水・通気用耐火二層管

汚水 ※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管

・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）

・ 硬質塩化ビニル管（VP）

・ 排水・通気用耐火二層管

通気 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白）

・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）

・ 硬質塩化ビニル管（VP）

・ 排水・通気用耐火二層管

(1)排水横主管に設ける90°曲管は原則として大曲管とする。

(2)排水縦管の下部曲がり管及び排水横枝管の水平曲がり管は大曲管とする。

満水試験 ※ 行う

・ 行わない

煙試験 ※ 行わない

・ 行う

排水の通水試験は、樹への放流を確認し、報告書を作成すること。

（空調ドレン排水を含む）

流しの床上部分の配管を硬質塩化ビニル管（VP）とする場合は

は監督職員と協議する。（フレキシブルジョイントによる接続は不可）

耐火二層管は国土交通大臣認定及び（（財）日本消防設備安全センター）性能評定に基づき、伸縮継手を設置すること。

屋外排水設備

1 放流納付金

2 配管材料

3 樹

4 樹の深さ

※ 不要

・ 要（ ・ 別途工事 ・ 本工事）

※ 硬質塩化ビニル管（VU）

・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS-VU）

マンホールは組立式とする。蓋には汚水、雨水等の文字を入れる。

蓋の鎖 鉄製蓋 ※ 要 ・ 不要

塩化ビニル製蓋 ・ 要 ・ 不要

※ 排水を接続する市町の指針、基準等の規定による。

・ 以下による。（排水を接続する市町の指針、基準等がない場合）

汚水樹（小口径樹（150mm（流入口径75mm以下に限る））：深さ1,000mm以下

小口径樹（200mm）：深さ1,500mm以下

小口径樹（300mm）：深さ2,500mm以下

雨水樹（ハスケット付）小口径樹（150mm）：深さ1,200mm以下

小口径樹（200mm）：深さ1,500mm以下

小口径樹（300mm）：深さ2,500mm以下

給湯設備

消火設備

ガス設備

1 配管材料

2 配管保温外装

1 配管材料

2 屋内消火栓箱

1 ガスの種類

2 配管材料

3 ガスメーター

4 ガス漏れ警報機

5 緊急遮断弁

6 その他

1 処理方式

2 処理能力

3 本体構造

4 放流水質

5 配管材料

6 土留め工法

1 種別

2 掘削方式

3 ケーシング

4 ストレーナー

5 電気検層

6 水質検査

1 冷媒（フロン系）の回収

2 家庭用エアコンの処分

3 吸収冷凍機、吸収冷水機等の臭化リチウム水溶液等

④ 石綿含有建材の除去工事

※ 一般配管用ステンレス鋼管

・ 鋼管（硬質M）

・ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管

・ 保温付被覆鋼管（保温14mm以上）

屋内露出 ※ 合成樹脂製カバー

屋外露出 ・ 合成樹脂製カバー

※ ステンレス鋼板

屋内一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白）

・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370 白管 sch40）

・

原則としてハウジング形継手は使用しない。

地中埋設 ※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（VS）

・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（STPG370VS 白管 sch40）

・

※ 製造者標準仕様 ・ 標準図（P - ）による。

・ 都市ガス Kcal/nm3

・ 液化石油ガス 24,000Kcal/nm3

屋内一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白）

・

地中埋設 ※ ポリエチレン被覆鋼管（PLP-PLS）

・ ガス用ポリエチレン管（PE）

※ 貸与品 ・ 本工事

外部出力端子（※ 有 ・ 無）

・ 設ける ・ 設けない

ガスボンベ転倒防止の鎖は本工事とする。

合併処理 ・ 建築基準法施行令第35条の認定品による

・ 建設省告示第1292号による。第（ ）（方式）

処理対象人員 人

処理水量 m3/日

・ コンクリート製 ・ FRP製

BOD ppm 以下

・ 一般配管用ステンレス鋼管（ ）

・ 耐熱性硬質塩化ビニル管（ ）

・ 配管用炭素鋼鋼管（白）（ ）

・

・

・ 浅井戸 ・ 深井戸

・ ロータリー式 ・ パーカッション式 ・ ダウンザホールハンマ式

※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）

・

※ ステンレス製巻線型 ・

※ 連続測定 ・ スポット測定

※ 行う（原水全項目） ・ 行わない

※ 無 ・ 有

（1）冷媒の回収にあたっては、「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）」に従って行うこと。

また、法に規定するものの他、次の書類を監督職員に提出すること。

（ア）第一種フロン類充填回収業者登録通知書の写し

（イ）フロン類の処理に関する証明書（充填証明書、引取証明書等）

（2）行程管理票の様式は、監督職員の指示による。

家庭用のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、本工事では撤去までとし、処分等については、施設管理者へ引き渡しを行う。

※ 無 ・ 有

関係法令に従い、専門業者により適正に処理すること。

事前調査 ※ 行う ・ 行わない

工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している建築材料等の使用の有無について調査する。

分析による石綿含有建材の調査 ※ 行わない ○ 行う（ 1 箇所）

測定箇所等は監督職員の指示による。

石綿粉じん濃度測定 ※ 行わない ・ 行う（ 箇所）

測定箇所等は監督職員の指示による。

石綿作業主任者

石綿作業主任者技能講習修了者又は平成18年3月以前の特定化学物質作業主任者の有資格者の内から選任し、法令に基づき、作業の方法、労働者の指導等必要な措置を行うこと。

石綿含有品 ○ フランジ用ガスケット（○ 配管 ・ ダクト）

・ 配管用成形保温材

・ 天井材

・ 外壁（ ・ 塗材 ・ スレート ・ ）

撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理を行い、必要に応じて官公庁等への届出を行うこと。

石綿含有塗材の塗布された外壁及び石綿含有スレート波板等の外壁面に対して、足場及び配管等の支持のため、アンカーを打設する際にも、石綿作業主任者を配置し、外壁面に対して湿潤状態とし、集塵機能付き電動工具を使用する等、飛散防止措置を講ずること。

その他

1 ステンレス材を酸洗いたした場合、その廃液は産業廃棄物として適切に処理を行なうこと。

2 舗装版切断時の濁水は産業廃棄物として適切に処理を行うこと。

別表 1

名 称

配管類

・ 給水管

・ 排水管

・ 冷温水管

・ 冷媒管

・

弁類

・ 仕切弁

・ バタフライ弁

・ 逆止弁

・ 緊急遮断弁

・

ポンプ類

・ 給水用ポンプ

・ 空調用ポンプ

・ 消火ポンプ

・

タンク類

・ 受水槽

・ 高架水槽

・ 貯湯槽

・ 膨張水槽

・

空気調和設備工用機材

○パッケージエアコン

・ 空気調和機（AHU）

・ 冷却塔

・ ヘッダー

・

自動制御機器類

・ 中央監視盤

・ リモート盤

・

・

給排水衛生設備工用機材

・ 衛生器具

・ 水栓

・ 組立てマンホール

・

・

浄化槽

・ FRP浄化槽

・ 動力盤、制御盤

・ ブローア

・

・

さく井

・ スクリーン

・

・

・

その他

・ スリーブ（つば付鋼管）

・

・

・

○ 印の付いたものを適用する。

別表 2

設備機器・配管の支持、固定は、以下の図書を適用する。

ガイドライン：静岡県防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（平成25年度）

センター指針：建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）

施設分類	設備機器・配管等の支持、固定	左記のうち、横引き配管などの支持
防災上重要な機能が必要とする防災拠点等	ガイドライン＊	ガイドライン＊
防災上重要な施設	ガイドライン＊	標準仕様書
一般の施設	標準仕様書	標準仕様書

*ガイドラインに記載のない内容は、センター指針を適用する。

青島彰一級建築士事務所

藤枝市市民協働部協働政策課

藤枝市文化センター空調設備改修工事

図 青島

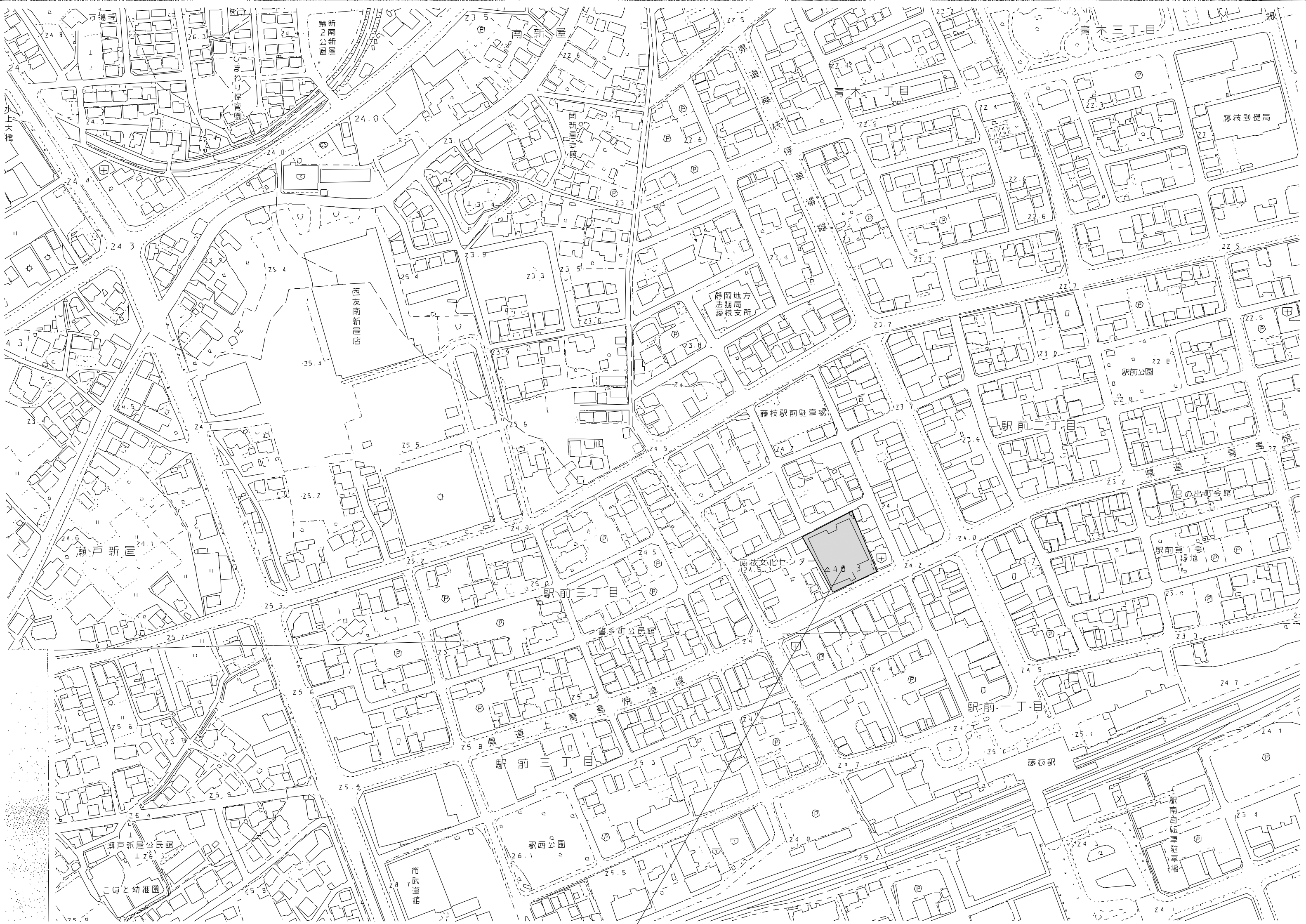
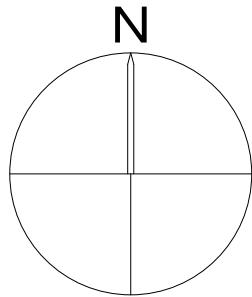
縮尺 N.S

図名 機械設備工事特記仕様書（R6. 4） 2/2

作 横山

図番

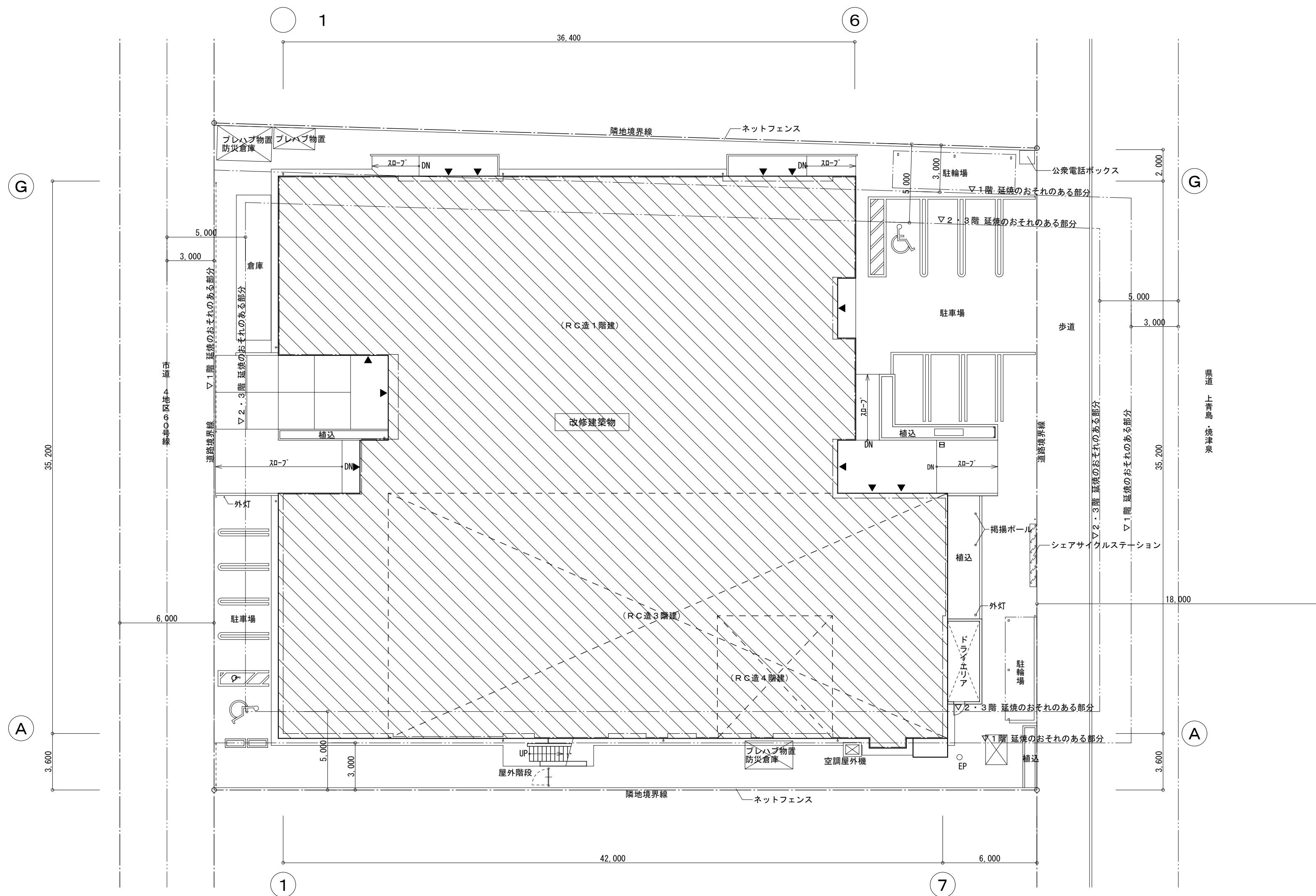
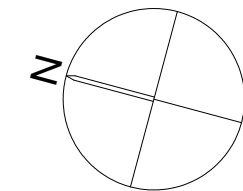
M-02



工事箇所：藤枝市駅前2-1-5

案内図 1 : 2, 500

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by 青島 彰	青島彰一級建築士事務所 〒426-0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F PHONE054-643-6118 FAX054-643-4354	一級建築士登録 第118124号 青島 彰	訂正	Number in set M - 03
	藤枝市文化センター空調設備改修工事	案内図	1 : 2,500	Checked by		一級建築士事務所登録(10)第2195号	*	
				Approved by 青島 彰				
				Date R06. 11. 08				

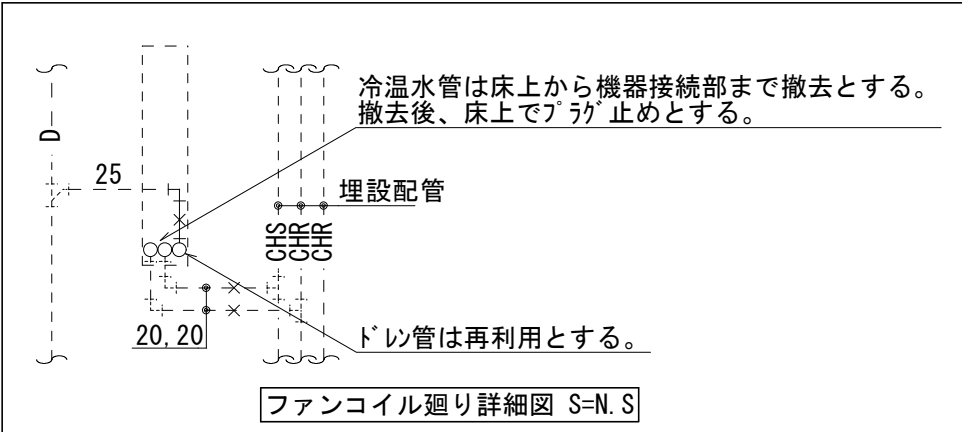
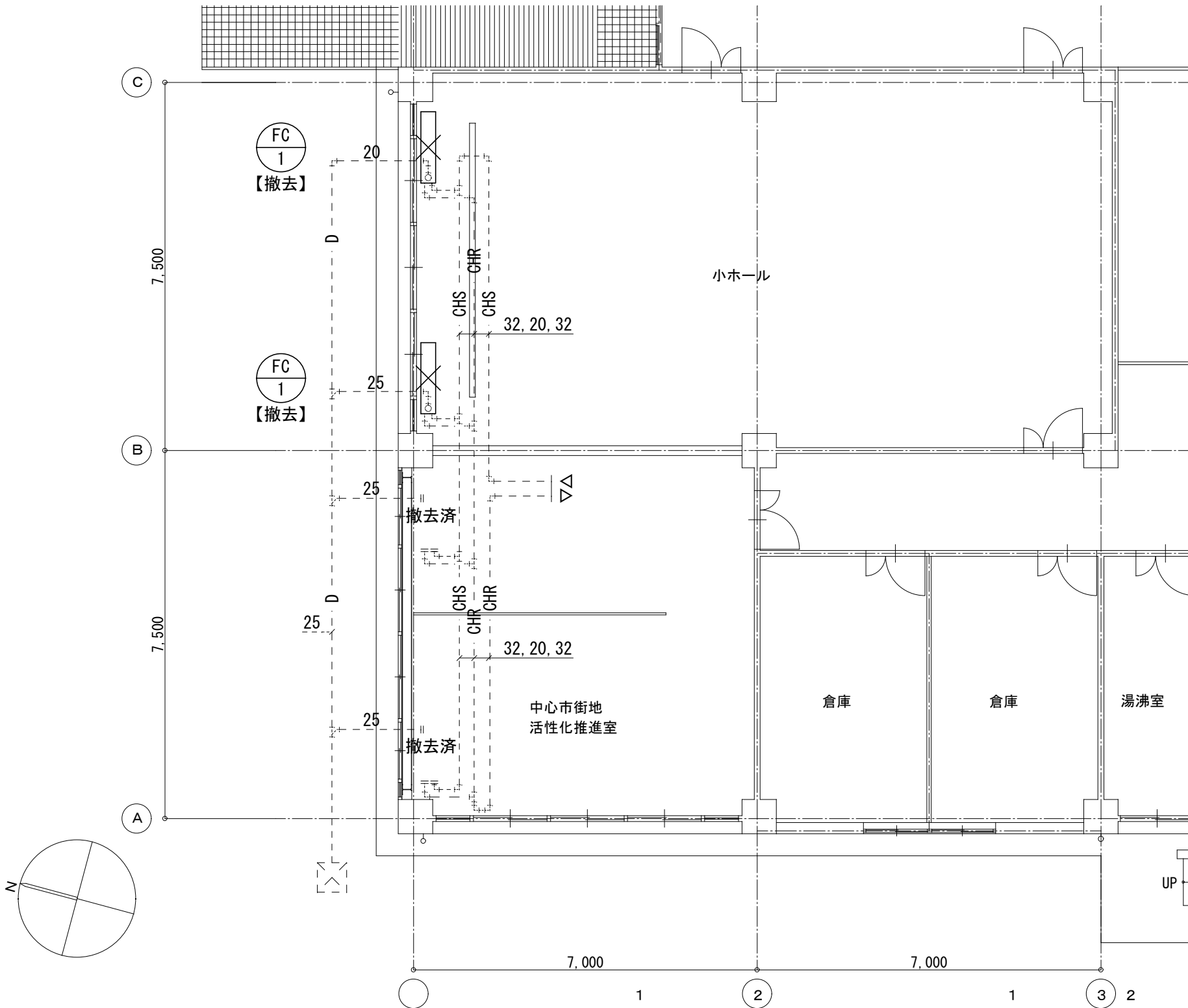


配置図 1 : 200

Project code	Title of the project	Kind of drawing	Scale	Drawn by	<div><div><div></div></div><div>青島彰一級建築士事務所</div><div>〒426-0037 静岡県藤枝市青木3丁目14番1号 ソフィアビル3F PHONE054-643-6118 FAX054-643-4354</div></div> <div>一級建築士登録 第118124号 青島 彰 一級建築士事務所登録(10)第2195号</div>	訂正	Number in set
	藤枝市文化センター空調設備改修工事	配置図	1 : 200	Checked by		*	M - 04
				Approved by			
				Date			

改修前

空調機器表						
記 号	名 称	仕 様	電 源		台数	設置場所
			φ	V		
FC-1	ファンコイルユニット	床置ローリー型	1	100	2	1階 小ホール
	【撤去】	冷房：3500 kcal/h 暖房：4860 kcal/h				

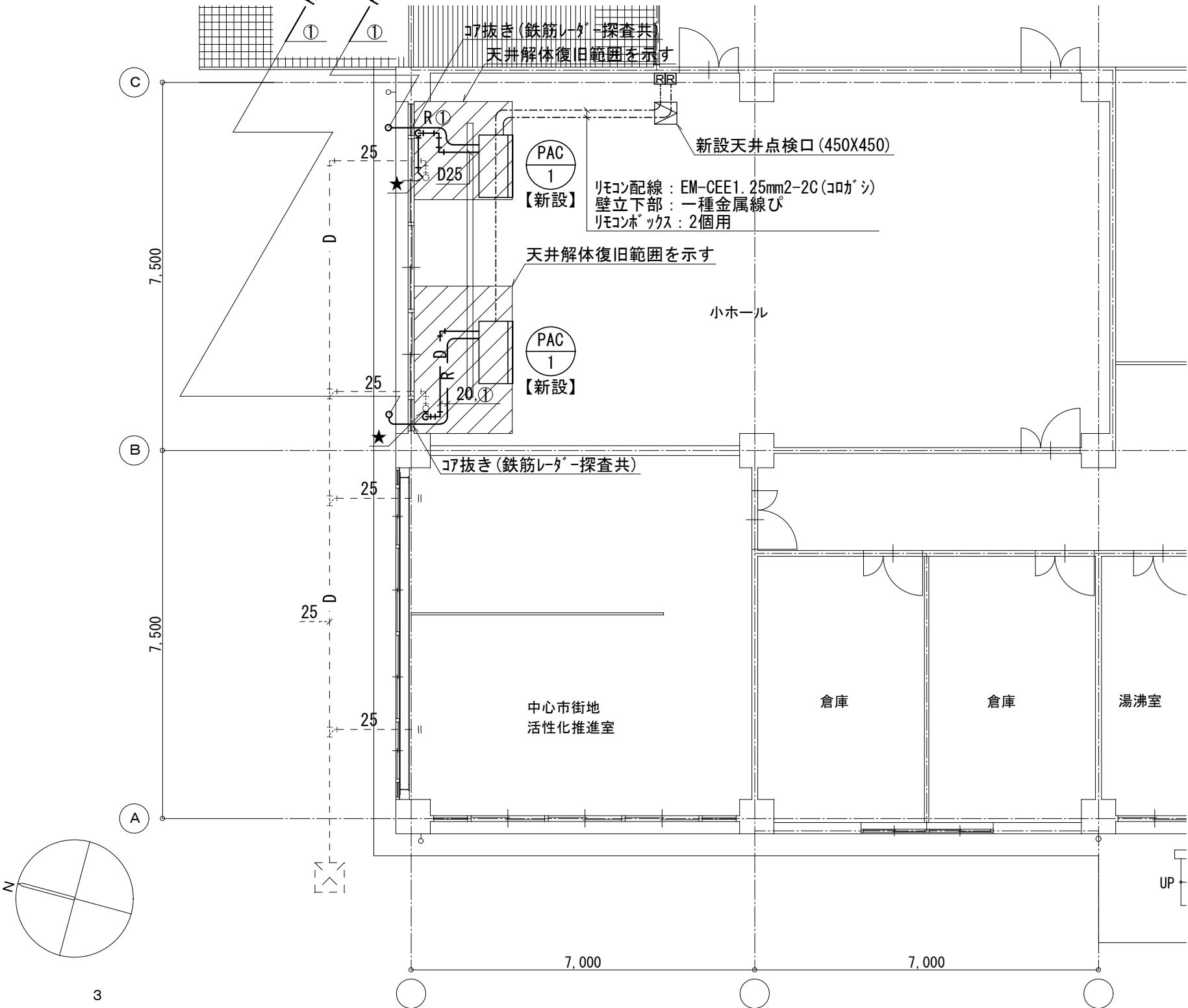


【石綿含有物撤去・処分一覧表】				
寸 法	形 状	1階小ホール		備 考
20A	フランジ	4		配管

凡例
——：撤去を示す
-----：既設のままを示す

改修後

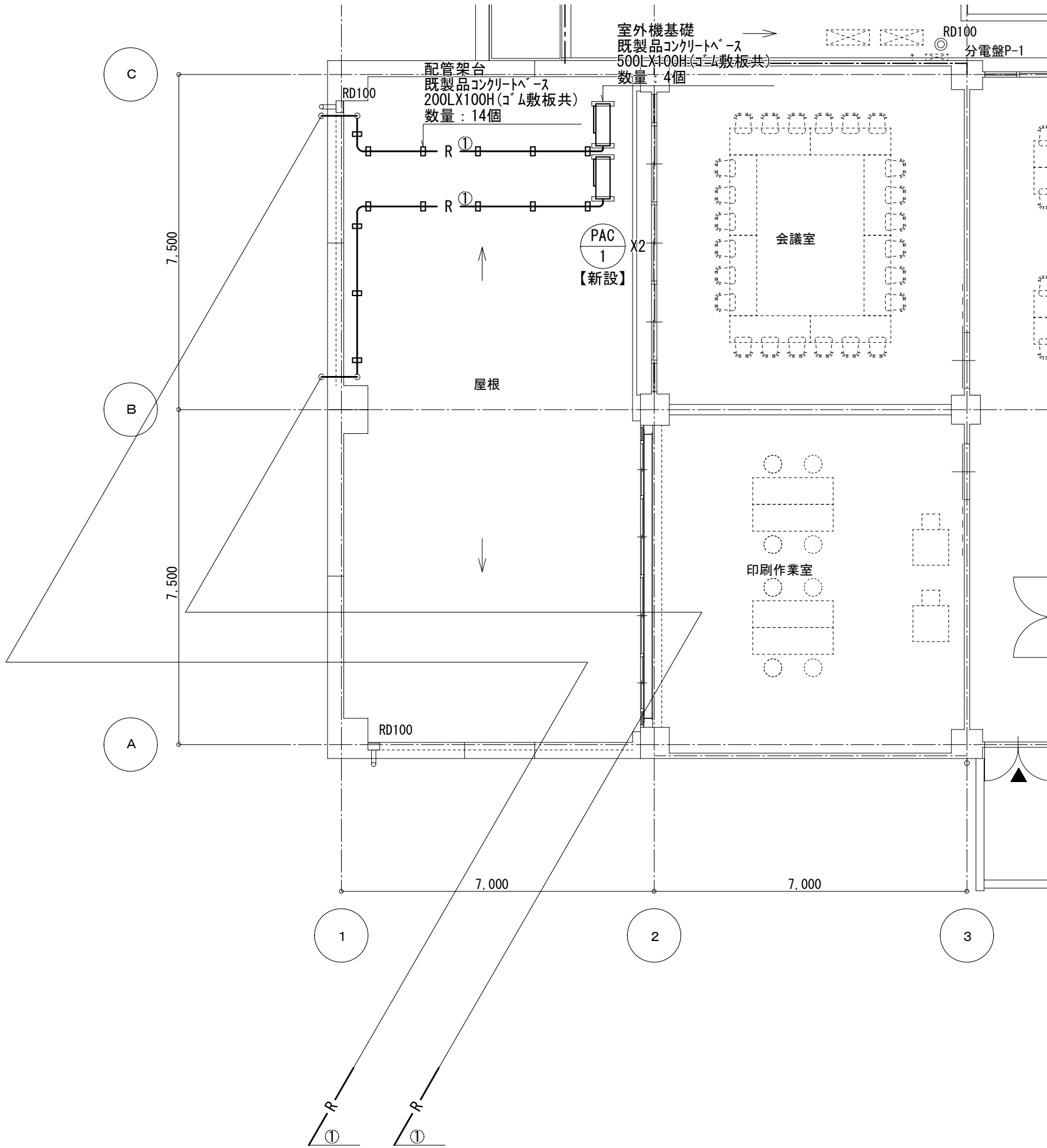
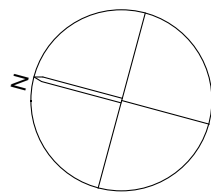
空調機器表						
記 号	名 称	仕 様	電 源		台数	設置場所
			φ	V		
PAC-1	空冷HPパナサージ	天吊型(シグナル)	1	200	2	1階 小ホール
	【新設】	冷房：5.6 kW 暖房：6.3 kW				参考型番：SSRH63CV(ﾀﾞｲﾔﾝ)
		圧縮機：1.1 kW 消費電力：(冷)1.62 kW / (暖)1.60 kW				
		送風機：(内)0.091 kW / (外)0.05 kW				
		APF：6.1				
		ワイヤードリモコン、ドレンアップキット、転倒防止金具、他標準付属品共				



冷媒配管サイズ表			
記号	液管	ガス管	内外渡り配線 (冷媒管共巻)
①	6.35 φ	12.7 φ	EM-EEF2.0mm2-3C

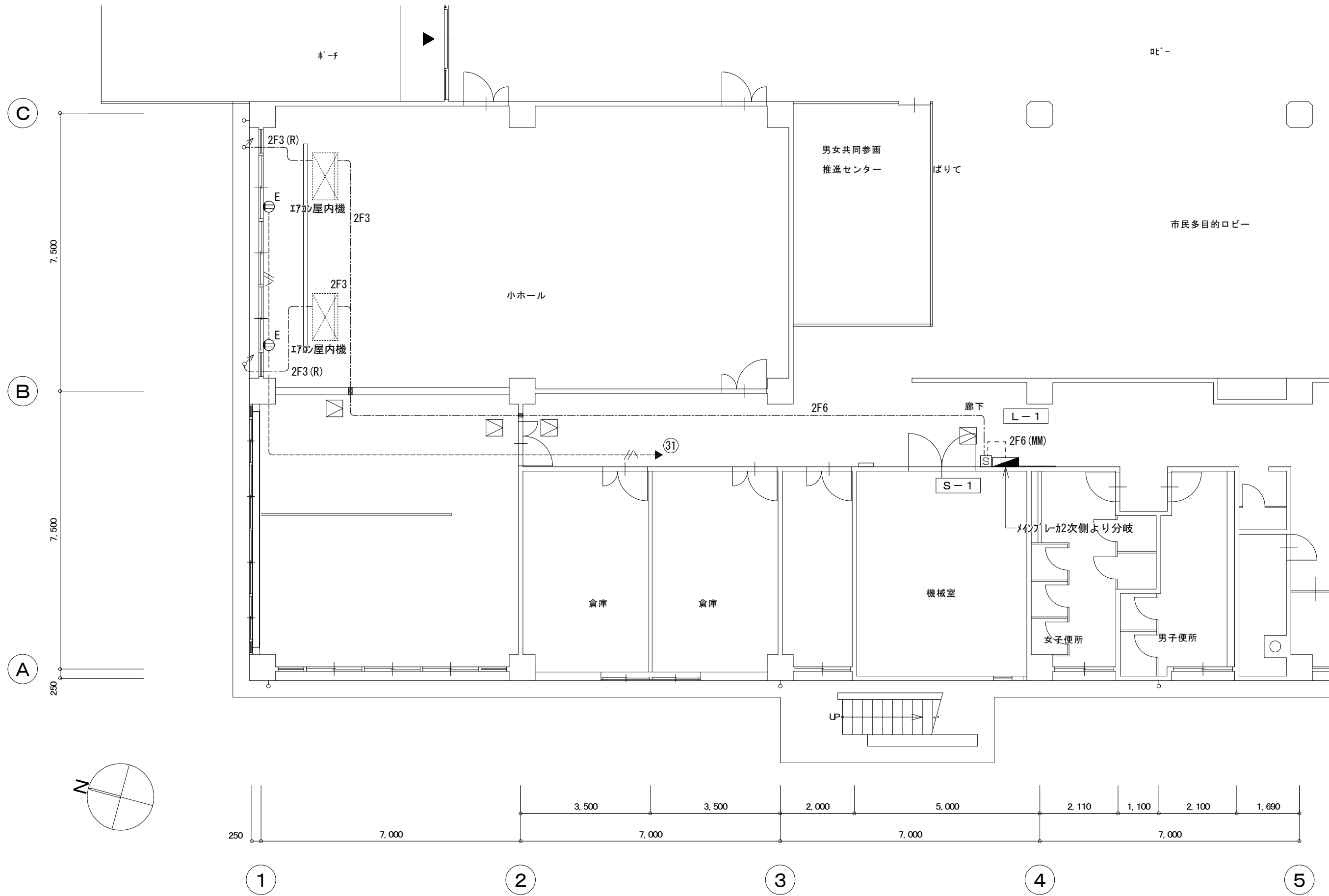
凡例
——：新設を示す
-----：リモコン配線を示す
-----：既設のままを示す
★：既設接続箇所を示す

改修後

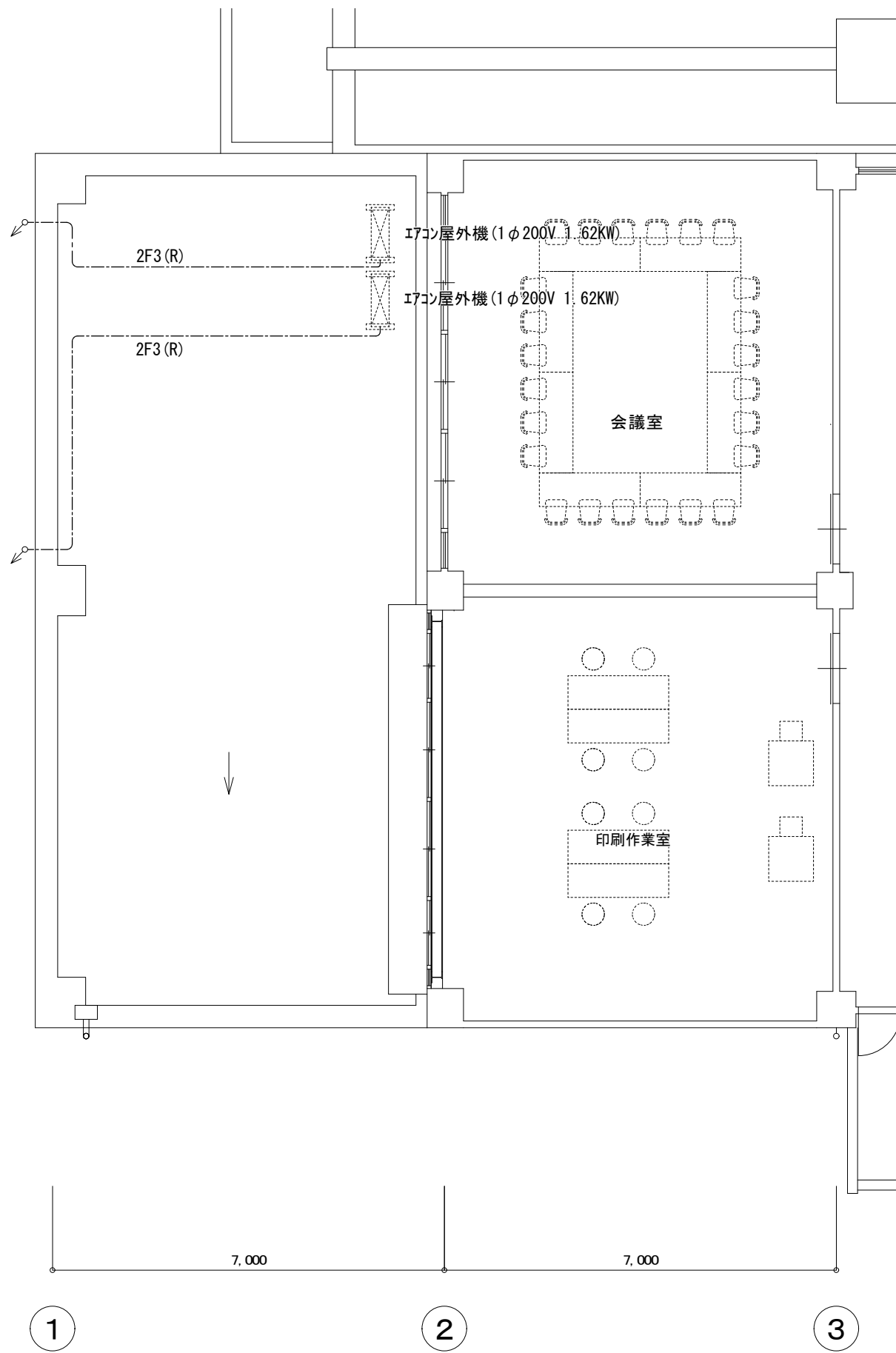


冷媒配管サイズ表			
記号	液管	ガス管	内外渡り配線 (冷媒管共巻)
①	6.35 φ	12.7 φ	EM-EEF2.0mm2-3C

凡例
—— : 新設を示す
- - - : 既設のままを示す



1階平面図（現況・撤去・改修） 1：100



2階平面図（改修） 1：100

- 注記)
- 2F3 EM-EEF2. 0-3C (天井内)
 - 2F6 EM-EEF2. 0-3Cx2 (天井内) 露出立下り (MM1-B) コナボックス取付
 - 2F3 (R) EM-EEF2. 0-3C (冷媒管共巻)
 - 2F6 (MM) EM-EEF2. 0-3Cx2 (MM1-B)
 - IV2. 0x3 (19) 配線のみ撤去
- 埋込コンセント 2P15A (E付) x1 撤去 撤去後角形カバープレート取付
- 手元開閉器 取付 ELCB2P50AF20AT (200V) x2入り
- 引抜き部分 鉄筋探索共
- 天井点検口 450角